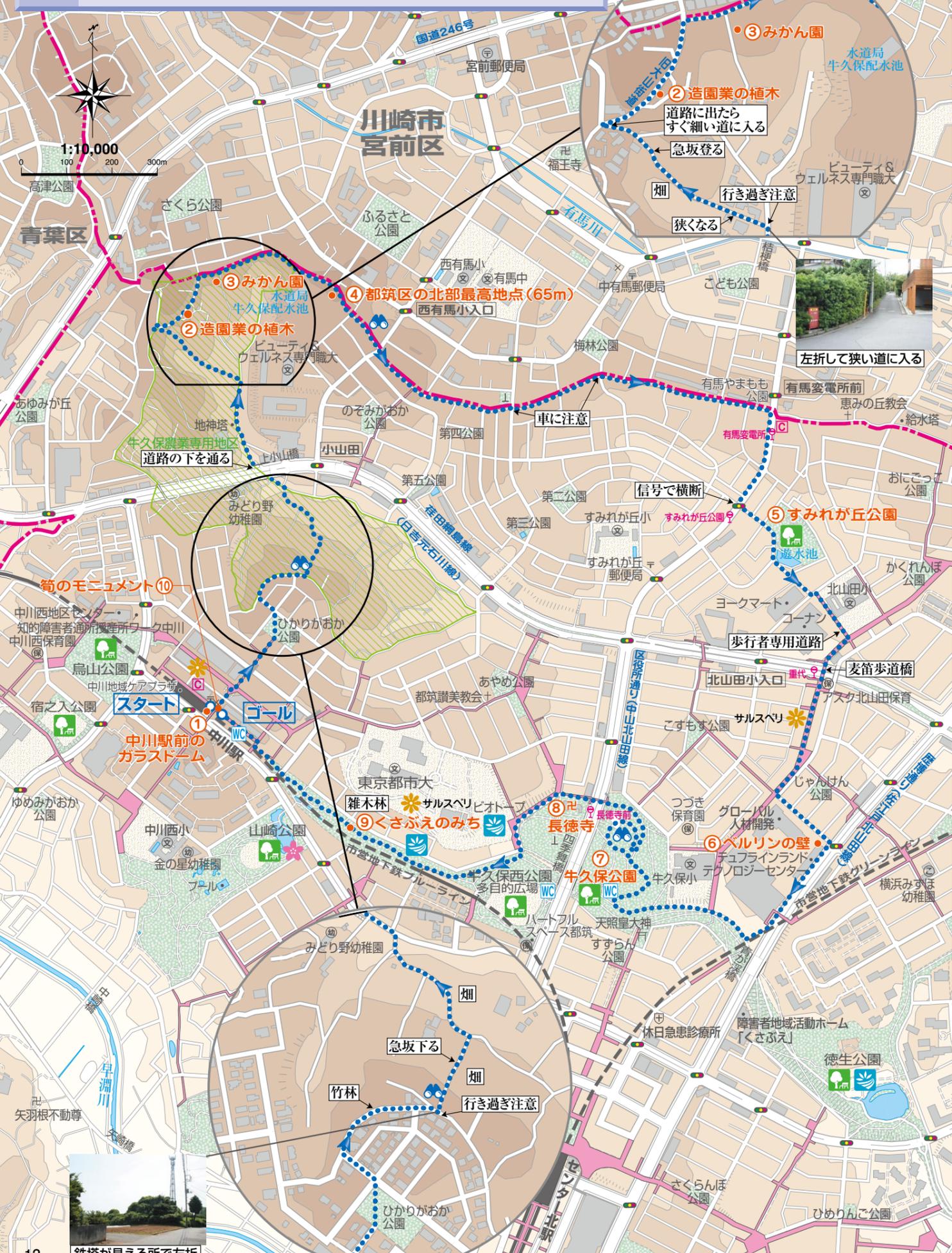


C みなとみらいの遠望を楽しむコース



1 中川駅前のガラスドーム
 駅周辺は「ネオ・ロマンチック」をイメージした街づくり協議地区となっており、交番や郵便局などユニークな建物がある。また、中川駅みんなの広場にあるガラスのドームは、地域のランドマークになっている。



2 造園業の植木
 近年は土地開発が進み農業をする人が少なくなったが、このあたりでは昭和35年頃までは8割以上が農業で暮らし、米や野菜を栽培していた。40年頃になって住宅が急に増え、野菜から植木の生産地となった。



3 みかん園
 都筑区には農業専用地区があり、さまざまな農作物が生産されている。牛久保ではみかん園を営んでいる農家もある。毎年、秋の収穫時にみかん狩りが行われ幼稚園の子どもたちや家族連れで賑わっている。



4 都筑区の北部最高地点
 横浜市水道局牛久保配水池の付近は、海拔高度が65mあり、北部で最も高い場所。周辺からは都筑区のタウンセンターや遠くみなとみらい地区の高層ビルが望める。



5 すみれが丘公園
 山林や畑の起伏のある北から南に向かって、緩やかな斜面に造成されたすみれが丘の住宅地に造られた公園で、広い多目的広場がある。また南側には大雨の時、雨水を一時貯水して下流へ少しづつ流す「すみれが丘遊水池」がある。



6 ベルリンの壁
 ベルリンの壁の一部がドイツ企業によって、日独親善と永遠の平和を願って設置された。絵はフランスの画家ティエリー・ノール氏によって描かれた。



7 牛久保公園
 港北ニュータウンの開発によりできた公園で、くさぶえのみちの緑道に接しており、見晴らしの良い高台となっている。近隣の牛久保西公園には、野球・サッカーを兼ねたグラウンドがある。



8 長徳寺
 本堂前の庭園は十三重の塔をとり囲むように、松や梅、銀杏、山紅葉など多くの植木が手入れされ、植木と石の庭は水墨画のような趣きがある。特に山紅葉は市の古木名木に指定されている。



9 くさぶえのみち
 「山崎公園」「牛久保西公園」から「牛久保公園」「徳生公園」へと続く緑道。広がりがあり緑道というより、せせらぎのある谷や池のある広場という感じ。途中にあずまやがある。



10 筍のモニュメント
 明治～昭和30年代に盛んに生産された筍は、「中川の筍」として京浜市場を通じて多くの消費者に賞味された。一方、孟宗竹は籠・ザルなどの竹細工に使われた。中川駅前にモニュメントがある。

中川地区の農業

今では農業をする人はとても少ないが、このあたりでは昭和35年頃までは8割以上が農業で暮らしていた。明治から大正時代までずっと米、麦が作物の中心だったが、関東大震災のころから野菜の栽培が盛んになり、東京、横浜の市場で、中川は「近郊野菜の産地」として知られた。特にタケノコは有名で、中川中学校の校章にも使われている。今は牛久保町の農業専業地区で主に野菜が栽培され、日曜日に中川駅の近くで新鮮な野菜を売る朝市が開かれている。

中川駅近くの日曜朝市

